

谷川岳・天神尾根 1977m（群馬県みなかみ町、新潟県湯沢町）

山行 報告 《大宮岳稜会》

日時: 令和5年(2023年)1月13日(金)日帰り 晴れ 【個人】 提出者>岩田

メンバー: 岩田 合計 1名

行程: 電車 7:01 大宮⇒(たにがわ 401号)⇒7:52 上毛高原 バス 8:05⇒⇒8:50 土合口 ロープウェイ 9:00⇒⇒9:15 天神平

徒歩 9:30 天神平 1320m 出発⇒⇒10:36 熊穴沢避難小屋 14851m⇒⇒11:23~30 天狗の留まり場 1692m⇒⇒12:18~35 肩の小屋⇒⇒12:45 谷川岳トマノ耳 1963m⇒⇒13:05 肩の小屋 下山開始 ⇒⇒13:23 天狗の留まり場⇒⇒13:52~14:10 熊穴沢避難小屋⇒⇒15:10 天神平

行動時間 5時間40分

ロープウェイ 15:34 天神平⇒⇒15:45 土合口 バス 16:15⇒⇒17:01 上毛高原 電車 17:27⇒⇒(とき 334号)⇒⇒18:15 大宮

装備: ヘッドランプ、防寒着、コンパス、地図、非常食、スマホ、GPS機、アイゼン、ピッケル、わかん、スパッツ、ゴーグル、バラクラバ、テルモス、ツエルト、エマージェンシーシート、無線機

特記: ロープウェイ>営業時間 8:30~16:00 1.10~3.14の毎週火曜日は定休日です。ロープウェイの運休、全館休館ならびに駐車場も定休日の際は封鎖する。

感想: 久しぶりの新幹線の山旅鉄旅であった。大宮駅で一句「ひさびさの たにがわ号で 雪山よ」(写真1) JR SKISKI ポスターのキャッチコピーが良い。「冬を取り戻すんだ。」

天神平では高気圧におおわれまるで春山のように風は穏やかだ。雪はしまりアイゼンをつけて天神平駅を出発した。夏道のトラバースするルートは無く、稜線まで直登となった。(写真2) 4年前の1月荒天で退却した熊穴沢の頭の岩場では右側を巻くが、急斜面で幅狭く要注意箇所だ。

熊穴沢避難小屋はすっかり雪に埋もれ、目印の棒のみがでていた。積雪約3m。(写真3) 高度が上がるにつれ、白く白く雪山シーンがマックスとなる。天狗の留まり場で一息つけて見上げると、先行者が蟻のように並んで登っていく。一句「白い嶺 アイゼンはいて 登る列」(写真4)

12:45 谷川岳トマノ耳に登頂\(^o^)/。上越国境の稜線が白く美しい。(写真5-トマノ耳からオキノ耳を望む、写真6-万太郎山方面) 予定より少し遅れ、オキノ耳まで往復すると更に40~50分かかり、ロープウェイの最終16:00に間に合うかどうか不安なので下山することにした。

下山は念の為ピッケルを使い慎重に下り、15:10に天神平駅に着いた。バスは予定より1本早く、新幹線も1本早い とき 334号に乗車できた。今日は雪山大好き登山者がざっと40名ぐらいいたかも。以上



